



▲祭壇の前で追悼の言葉を述べる鈴木克幸田原市長

4月9日[金]

恒久平和への 思いを込めて

田原市戦没者追悼式が、田原市総合体育館において、市の主催により無宗教で開催されました。式には、遺族の方や関係者など約700名が参列し、太平洋戦争などで尊い命を失った2227柱の英霊に黙とうや献花を行うなど、平和維持への決意を新たにしました。

当日は、田原文化会館に原爆パネルの展示コーナーが設置され、参列者や文化会館の来場者などが足を止めていました。



▲サンテパルクたはら、来園500万人目の鈴木さん一家

4月3日[土]

愛される みんなの農業公園

サンテパルクたはらで**来園500万人達成式**が行われました。500万人目に入園したのは、鈴木潤也さん(浜松市)とご家族の皆さん。地元産の農畜産物など記念品が贈られたほか、記念植樹を行いました。鈴木さんは偶然訪れた幸運に「自分が節目に当たって驚きました」と喜びを語りました。

平成7年4月に開園した同公園は、平成12年5月に100万人、平成20年2月に400万人の来園者を達成しています。



▲オーナーの糟谷大輔さん(左)に、拾ったやしの実を渡す中村さん(右)

4月3日[土]

黒潮が運んだ やしの実のロマン

「愛のココナッツメッセージ・パート22」**やしの実対面式**が、日出園地で開催されました。島崎藤村の叙情詩「椰子の実」を再現しようと、昨年5月に石垣島から投流した110個のうち、3個のやしの実が鹿児島県と茨城県に流れ着きました。抽選で選ばれたやしの実のオーナーと、拾った方の2組が招待され、鹿児島県でやしの実を拾った96歳の中村実志さんは「長生きできたおかげ」と、対面を喜んでいました。